

IEC/IECEE CMC (認証管理委員会) 報告会

- 主催：適合性評価システム委員会、IECEE国内審議委員会
- 担当部署：知的基盤部
- 参加者数：約80名

概要

ITエレクトロニクス業界を取り巻く昨今の経営環境は、グローバル化の加速やサプライチェーンの転換等、大きな変化の渦中にあります。このような中において安全・安心な新技術製品をいち早く世界展開するためには、IECを中心とした国際標準・制度をツールとして有効活用することがいまや不可欠の取組みとなっています。IEC適合性評価制度の中心的存在であるIECEE CB制度は、製品の市場アクセスの第一関門となる法的強制・任意認証制度を迅速にクリアするツールとして幅広く活用されており、国内外製品認証の基礎となるCB証明書の日本国内における発行件数は全体の20%に達している状況です。このCB制度を運営管理するCMC（認証管理委員会）では、制度の健全な発

展と産業界への更なるサービス向上を目指して年1回、世界各国の規制当局、試験・認証機関、産業界代表を集めて精力的に議論を進めています。CB制度のユーザーは、制度を正確に理解し、制度の動きを迅速に把握することは、円滑な製品展開に大きく役立ちます。今回で第3回目となるIEC/IECEE CMC報告会では、IECEE CMCケアンス会議概要、CMC傘下委員会、WG活動の詳細な報告を行い、参加者は認証業務に関わる技術者のみならず法務部門、輸出管理等に携わっている方々にも広く参加いただきました。

プログラム

○経済産業省挨拶

経済産業省 産業技術環境局 国際電気標準課長 和泉 章 氏

○IECEE CMCケアンス会議概要報告

IECEE国内審議委員会委員長 梶屋 俊幸 氏（パナソニック株）

○CMC傘下委員会、WG活動報告

塩田 武彦 氏（一般財団法人 日本品質保証機構）
佐藤 恒之 氏（一般財団法人 電気安全環境研究所）
大川 守 氏（株UL JAPAN）
終平 洋夫 氏（テュフラインランドジャパン株）

○質疑応答

○CB制度の健全な発展に向けて

IEC/IECEE CMC副議長 近藤 繁幸 氏（一般財団法人 日本品質保証機構）

